



### 共に暮らす希望 看取りの愛

理事長 山崎 ハコネ

機関誌「からしだね」ですが第32号が発刊されました。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の危機が私たちの日常を大きく変え、高齢者を取り巻く介護事業においてはご利用者様、ご家族様、そして、直接介護にあたる職員たちに、今なお深刻な影響を与えています。

冬に向けて第2波が襲来する危機がある中で、職員たちは、感染リスクを常に背負い、手洗い・うがい・マスク等の徹底した「感染予防」に努め、緊張の中で、ご利用者の日常生活を支援させていただいています。ご家族の方も臨時面会室を利用しての面会となっております。

長期化するコロナ対応策として、ハード面では感染防止対策工事①手洗い場の増設、②オンライン対応による電工工事等々が施行となります。また、社会福祉充実計画では、からし種の家のお風呂場等の改修工事をはじめ、新潟市初の地域会議を経て、地域公益事業がこの9月から4年間計画で始まりま

した。ところで、先の見えないコロナ禍の不安とは対称的なのにご利用者の人生の最終段階の迎え方です。認知症があっても大先輩たちは自らの生き方を選択する意志をしっかりと持ちます。むしろ、生き方を決める主体者として自分で扉を開いて行かれます。その2事例をご家族のご了承のもとで紹介させていただきます。

■N様(女性) グループホーム入居者  
九〇代後半を迎えたN様はがんの再発、転移を知

ることになりました。手術をどうするかと問う医師にN様はご自分で「受けます」とはっきり伝えていました。しかし、もしもに備えてACPについても話し合い、心づもりも決めて手術に臨み、幸い手術は無事成功。経過を10日間で見ると入院となりました。

ところが、術後の翌日、退院できないかとの連絡が病院からあり、ご家族もどうしていいかわからずホームに電話が入りました。N様の術後の身体にはいくつもの管が繋がれていて、おそらく知らない病室で現状を理解できずに混乱されたのだと思います。点滴を抜くなどが続き、退院、ホームに帰れないかという電話内容でした。術後に伴う医療的処置が必要でした。

病院との交渉の中で付属の訪問看護サービスを医療保険で利用することを提案したところ、それが可能ということになり、私たちの顔を見るなりN様の表情はやわらぎ、術後一日目とは思えないほどホームでの暮らしぶりはいまままでどおりで、訪問看護とホームの良き連携体制の中でN様は回復へと向かっていきました。それは、医療者・ご家族・ホームの職員らの心配を吹き飛ばし、認知症の方にとってあらためて住み慣れた場所やなじみの暮らし、安心できる人々との時間をどんなにN様が望み、その生きある力を引き出していくか、「決めるのはわたし」であるということ、彼女ご自身が私たちに教えてくれました。

■M様ご夫妻 自主事業マナの家主入居者  
前号で紹介したM様ご夫妻は自主事業マナの家に入居されて一年半。この短い間に私たちは、ご夫妻の愛に満ちた暮らしぶりと看取り、二人の死に関わらせていただきました。

- 2020年12月
- 社会福祉法人 からし種の会  
事務局 〒950-2071  
新潟市西区西有明町2番5号  
TEL: 025-201-7688  
FAX: 025-201-7626  
E-mail: karashi9845-tane@cyber.ocn.ne.jp
- 高齢者グループホーム からし種の家  
〒950-2014  
新潟市西区小針西1丁目4番22号  
TEL: 025-267-6600  
FAX: 025-267-6602
- グループホーム マナの家  
地域福祉事業 マナの家・みんなの家  
〒950-2071  
新潟市西区西有明町2番5号  
TEL: 025-201-7688  
FAX: 025-201-7626



ご紹介させていただきますように人生の最終段階の迎え方は人によってさまざまです。ご本人たちの望む生き方に寄り添う、そのお手伝いをさせてもらえることはなんと嬉しいことでしょうか。

九十歳を迎えた夏、腹部にかなり大きな大動脈瘤が見つかりました。いつ急変するかわからない状況にあって、ご本人は医師からの説明を受けると、今までどおりの生活を送ることを選択いたしました。ここでも、もしものときにそなえて話し合いをもち方向性は定まっておりました。九月のある夜、突然腹部の激痛を訴え、病院に運ばれました。大動脈瘤解離、医師は輸血を勧めましたが、M様の望まれた意思をS様と姪御様はお伝えし2日めの深夜、愛するS様と姪御様に看取られてM様は天に召されました。

化されたとき、妻のM様はそばに寄り添って「大丈夫よ」とやさしく身体をさすりながら、いつも一緒のお二人らしく夫の最期を看取られました。その後も、ご主人のいなくなった自室で、写真の前に座って折っておられました。M様の生活は落ち着いたもので、ご自宅のお茶の教室も続けられていきました。そうした背後に、血縁以上の娘のようなS様の存在があり、お弟子さんたちの温かい善意の協力の中で、M様を中心としたお茶の教室、お稽古の場が用意されていたことを忘れてはならないと思います。M様ご夫妻にはお子様がいまありませんでした。しかし、その周りには温かい絆があり、M様にとってS様にとってもお互いの存在がどんなに大きな支えであったことでしょう。



# からし種の家

## からし種の家改修工事を終えて

管理者 樋口 俊介

からし種の家が開設してから長い年月が経ち、これまでこの家ではたくさんの思い出や歴史を積み重ねてきました。

そんな中、二〇二〇年十月、からし種の家はお風呂場、中庭、台所、玄関等ご利用者の皆様が一日を過ごす普段の生活の場の改修工事を行いました。中庭の古くなった縁側を補強し、より安全に安心して皆様が外での時間を過ごしていただけるようになりました。台所では長年使用していた食器棚が新しいものになり、台所全体が明るい雰囲気になったように感じられます。お風呂場も同様で、皆様から「わあすごいわ。明るくなって良いわ」と喜んでいただけようです。工事を行ったことで慣れていた場所、物が変わりご利用者の皆様が戸惑うのではないかと心配していましたが喜ぶ表情を見て安心しました。

これからこの新しくなったからし種の家で、これまでと同様、たくさん思い出が作れるよう皆さんと共に前進していきたいと思っています。お一人お一人にとって安心して生活できる場となるよう、ご利用者の皆様の声を聴きながら職員一同取り組んでいきたいと思えます。



湯舟が広く、手すりもついて入りやすくなりました



台所の壁に窓を追加、調理中でも様子が見えるようになりました。

## 改修工事のご利用者様の様子

からし種の家職員 藤田 妙子

この度、からし種の家改修工事が行われるに当たり、ご利用者の皆様にはさまざまなご協力をいただきました。特に、浴室やキッチン改修に伴い騒音が発生することや、入浴できなくなることから皆様には何度か「マナの家」に移動し、ゆっくり過ごしていただくこととなりました。

いつもと少し違う環境でしたが、広いホールで談などをなさったり、ぬりえや折り紙を楽しんだり、入浴されたりと、皆様穏やかに過ごしておられました。また、何人かの方で施設の中を見学したり、マナの家の方が来て下さったりと、束の間の交流の時も持たれました。普段は手作りのお食事をお出ししますが、この日はほっ〇もっ〇さんのお弁当。たまにはこんなのもいいねと喜んで下さいました。とは言い、帰る時間が近づくとやはりソワソワ。からし種の家に着くと、皆様一緒にホッとされた様子でした。皆様ありがとうございました。神様の守りと祝福に感謝しつつ。



マナの家にて



# たまり場・みんなの食堂

たまり場・みんなの食堂もコロナ禍のなかで活動が難しい状況です。その中で出来ることを考え、今は「たまり場」はお休みとし、月一回の「みんなの食堂」をお弁当配布の形で継続しています。

「みんなの食堂」を楽しみにしてくださる方たちがいらつしやるのがスタッフの励みになっていきます。お弁当配布のみなので、参加者の方たちと接するのは短い時間ですが、元気でられることを確認できることがうれしいです。また、食事提供のニーズを感じています。

「みんなの食堂」では、いっぺーと様から毎回野菜を提供していただいております。野菜たっぷりの食事が用意できることをとても感謝しています。また、開催場所を新築棟地階「いこい」に移動しています。新しい場所が名前のとおり、参加して下さる方たちの憩いの場になりますようにと願いながら活動しています。(西村)

## 今後のみんなの食堂予定

12月21日(月)  
クリスマス食堂(夕食お弁当当)  
◆クリスマスメニューでお待ちしています◆

たまり場・みんなの食堂の予定はからし種の会ホームページにてご覧いただけます。



大人用と無料のお弁当ボリューム満点!!



いっぺーと様からいただいたお野菜



感染予防対策をとってのみんなの食堂



コロナが猛威を振るう中、皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。からし種の家もマナの家もお陰様で、この猛暑の夏の間、多くの職員の方や奉仕者のお働きにより、乗り切ることができ、感謝のほかはありません。

さて、からし種の会の会計を寄付金の側面から支援するために、二〇一九年三月に「一般社団法人・からし種の会後援会」を無事設立することができました。これからは、皆様の尊い寄付金をこの会でまとめてお受けして、あと残された六百万円の借財の返済を三年間で完済したいと願っております。

この法人の設立により、会計が単純明快となり、また公的な責任を果たす一助にもなると思っております。理事長に小淵康而(隠退牧師)が選ばれ、ほかの理事として児玉幸さん(隠退牧師)、小池弘子さん(からし種職員)が担当いたします。どうぞよろしく願います。

考えてみますと、この二十二年間、しっかりした財源もないのに、実に多くの皆様のご協力によってからし種の会の働きが支えられてきましたことも改めて感謝せずにはおられません。しかし、一つ課題があります。それは、返済資金が山崎ハコネ理事長の個人的負担に過分に依存していることです。そこで、このクリスマスには皆様には是非そのことをご推察いただき、何卒、寄付金のご協力をお願い申し上げます。



### 一般社団法人からし種の会後援会 定款

#### 第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、一般社団法人からし種の会後援会と称する。

(主たる事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を新潟県新潟市西区に置く。

#### 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、キリストの愛と自由の精神にもとづき、だれもが住み慣れた地域でその人らしく生き、豊かな生活を創造できる共生社会の実現をめざすと共に任意団体社会福祉法人からし種の会後援会の会員制度を発展的に解消し、これまでの任意団体社会福祉法人からし種の会後援会の財産を引き受けて、より組織的にこの法人主導で社会福祉法人からし種の会の財政を支援し、その債務を完済することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、以下の事業を行う。

- (1) 地域の福祉及び共生に関する活動
- (2) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### オンライン講演会ご案内

テーマ 『一人にしないという支援』

講師：奥田 知志氏

東八幡キリスト教会牧師・  
NPO法人<sup>ほうぼく</sup>抱樸理事長

日時：2021年1月8日(金)

13:30～15:00



※問い合わせ、申し込みはからし種の会事務局まで

専用メールアドレス：

online2020karashi@gmail.com

後援会個人献金等 一般社団法人からし種の会後援会

2019年7月1日～  
2020年10月10日分

■賛助会費、維持会費、自由献金

氏名	金額	氏名	金額	氏名	金額
中俣 正美	330,000	北尾 隆昭	5,000	イエス・キリスト栄光教会	5,000
山岡 清二	5,000	黒崎 浩	5,000	日本基督教団 新津教会	3,000
横山 豊治	3,000	明地 美智子	5,000	日本キリスト教団 東中通教会	3,000
武井 一枝	6,000	松崎 博司	5,000	日本基督教団 新潟教会	5,000
北垣 宗治	8,000	永田 陽子	10,000	松本 幸恵	5,000
久保 和子	6,000	古川 久子	3,000	新発田教会	10,000
神保 みゆき	5,000	佐藤 浩雄	3,000	敬和学園大学キリスト教と教育委員会	5,000
林 浄子	5,000	富岡 元子	5,000	日本キリスト教団 高田教会	3,000
饒村悠子税理士事務所	3,000	鈴木 恵子	5,000	日本基督教団新丸子教会	3,000
牛木 秀子	5,000	藤森 恵美子	5,000	日本キリスト教団 佐渡教会	3,000
守下 義之	20,000	小淵 康而	10,000	日本キリスト教団 東新潟教会	3,000
貝塚 夕紀代	5,000	加藤 楽子	5,000	河上 正義	5,000
高橋 和彦・華枝	3,000	馬場 優子	40,000	日本基督教団 越谷教会	5,000
薩摩 雅宏・牧子	5,000	羽柴 房子	5,000	青山学院初等部	30,000
星野 りえ子	20,000	佐藤、石井、高橋	10,000	五泉教会	3,500
小林 恵	10,000	青木 脩	10,000	日本キリスト教団新丸子教会 婦人会	3,000
児玉 幸	3,000	一柳 茂樹	10,000	日本キリスト教団聖ヶ丘教会 婦人会	10,000
小柳 直江	10,000	八木澤 久美子	10,000	山崎 ハコネ	2,400,000
石坂 誠	3,000	櫻井 勝郎	1,000	匿名	32,000
加野 久子	3,000	竹内 晃	5,000	匿名	3,000
新潟地球村教会	10,000	貴田 陽一	20,000	匿名	50,000
(株)コムプラスビズ	10,000	長谷川 静子	5,000	後援会寄附金合計	3,379,500
大岩 治子	5,000	並木 浩一	15,000		
山北 宣久・千世	100,000	(株)ネイグル新潟	10,000		

献金・ご寄附のお願い

看取りの家、たまり場、みんなの食堂は自主事業で行っておりますので、運営は皆様からの献金・ご寄附に支えられています。

ご支援をよろしくお願いいたします。

後援会の口座 郵便振替口座 払込取扱票で入金の場合

口座番号：00540-6-53627

加入者名：一般社団法人からし種の会後援会



■法人寄附

氏名	金額	氏名	金額
並木 浩一	100,000	幸田 良子	150,000
関本 道章	20,000	小淵 康而	100,000
中西 康之・恭子	15,000	石坂 誠	5,000
森 数美・たづ子	30,000	小池 由佳	10,000
松井 朝子	50,000	佐藤 景子	139,987
青梅 美佐保	100,000	合計	749,987
山田 昌人・光子	30,000		

○所得税控除の為に法人へご寄附をされる方は下記の口座へお振込みをお願いします。

法人の口座

・第四銀行 小針が丘支店 普通預金

口座番号：1311450

口座名義：社会福祉法人からし種の会

・ゆうちょ銀行

口座番号：00520-2-49444

口座名義：社会福祉法人からし種の会

※ご不明な点はお問合せ下さい。

TEL 025-201-7688

# マナの家

## コロナ禍でのご家族との交流

めぐみ職員 堀川 聖子

新型コロナウイルス感染症対策を始めて数ヶ月が経ちました。ご家族や地域の方々に支えて頂いてきた「マナの家」にとって、交流を止めざるを得ない状況は大変心苦しいものでした。

現在は対策を行い、制約はありますがご家族との面会等再会し、ご利用者の笑顔が見られることを職員も嬉しく思っております。外出もできる範囲で散歩や外気浴にお誘いし、気分転換を図って頂いています。

今までにない状況で、ご利用者にも心配をおかけしたと思うのですが、これまでと変わりなく朗かに、自分らしさを大切に過ごして下さるご利用者の姿に、職員の方が救われる毎日でした。こんな時だからこそ何げない日常を大切に、制限のある暮らしの中でも「楽しい」と思ってもらえる瞬間をより多く持てるようにと過ごしてきました。ただ先は見えませんが、ご利用者と喜怒哀楽を共にしながら、日々の触れ合い



で生まれるエピソードを一つ一つ積み重ねていきたいと思えます。

## 七月の合同誕生会

のぞみ職員 長谷川 結 菜

今年は、コロナ禍により笹だんご作りやみそ作り等イベントができない状況でした。そんな中でも誕生会は普段の誕生会より少し豪華にしました。ご飯は、手作りのからあげや新潟名物の枝豆、お刺身など皆様好みの好物を提案させて頂きました。そして飲み物はノンアルコールのお酒を出させて頂き利用者様も「まさかここでお酒が飲めるなんてね」と笑顔がみられました。また機会がありましたら盛大に誕生会を行いたいと思います。今後も新型コロナウイルスの影響が続くと思えますが職員一同工夫してイベントを行っていききたいと思います。

### お品書き

### 七月誕生会

- 刺身3種 (鯛、マグロ、サーモン)
- 唐揚げ
- ナス漬
- 枝豆
- とうもろこし
- すいか
- ご飯
- お吸い物
- お飲み物 (ノンアルコールビール・カクテル・梅酒)

# 新潟市実施事業 医療・介護の出前学習

## 出前講座を終えて

めぐみ職員 中 村 杏 美

九月二十五日に坂井輪中学校で「介護福祉士の仕事」について講座を行って頂きました。

滝澤さんと一緒に中学生に介護の大変さや、やりがいやわかりやすく伝える為いろいろ考え準備しました。私は人の前で発表するのは小さい頃以来だったのですごく緊張していましたが滝澤さんが私も緊張しているから一緒に頑張ろうとおっしゃって下さいました。

発表当日、何事もなく二クラスの発表を終えることができました。介護は良いイメージを持ちにくいので、生徒の皆さんが介護に対するイメージが少しでも変わってくれたらなと思います。生徒の皆さんからは、「介護は自分自身も日々成長できる職業だと学びました」「最初に自分が思っていたイメージと変わった」「精神的にきついイメージがあったが高齢者の方の笑顔や優しさに元気をもらっていいことがあった」「介護は大変で、質問もたくさんして下さり介護のイメージが変わったなど興味を持って頂けてすごく嬉しかったです。将来私たちの講座を聞いて下さった生徒さんの中から介護士さんが産まれるようにこれからの介護業界をいいものにしていききたいです。」などお声を頂きました。私は正直介護世界は中学生にあまり興味がないものだと思っていました。私は正直介護世界は中学生にあまり興味がないものだと思っていました。私は正直介護世界は中学生にあまり興味がないものだと思っていました。私は正直介護世界は中学生にあまり興味がないものだと思っていました。

また、介護のイメージが良いイメージになるように私たち介護福祉士がいろいろな活動に参加したりしていろんな方に介護の良さを知って頂ける様に頑張っていけたらなと思います。

今回の出前講座は私にとってもいい体験になりました。

認知症の方へのケア

してあげるケアではなく、持っている力を引き出すケア

日常生活動作の介護だけでなく、生活の質が向上するケア

介護のやりがい

- ・コミュニケーション能力が身につく
- ・人から感謝される
- ・入居者様の回復を間近で感じることができる
- ・人生の大先輩の心のおおらかさ、優しさに触れられる
- ・高齢者との関わり合いから学ぶことが多い
- ・終末期（人生の最後）を間近で見届けられる
- ・家族の介護に役に立つ知識を学ぶことができる
- ・家族の介護でスキルが活かせる

介護は大変なイメージが多いが実際に働くと学ぶことや、やりがいや楽しさがあります。

当日使用したパワーポイント資料より

# 寄付 お礼

2020年7月30日  
 新潟ろうきん福祉財団様より新型コロナウイルス感染拡大に係わる「緊急特別地域助成金」としてみんなの食堂へ5万円を頂きました。

今後も感染防止対策が必要なことから飛沫感染対策パーティションを購入させて頂きました。現在はお持ち帰りのみですが、中での食事が再開できましたら活用させていただきます。

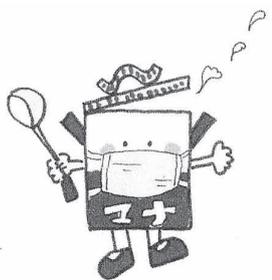
大変ありがとうございました。



並木様より、コロナ対策のためにと10万円のご寄付をいただきました。自主事業で行っている「みんなの食堂」が現在お弁当の配布という形で続いています。お弁当にしたことで、大人と子供用の無料のお弁当の容器や、盛り付け用に消毒や使い捨て手袋が毎回かなりの量が必要になります。また、一度に大量の調理が必要になることから追加の炊飯器や、保存のための冷蔵庫が必要だというスタッフの声がありました。コロナ禍にあって3密を避けるためにお持ち帰りのみで活動を継続しています。そこで今回のご寄附はそのためのお弁当の容器と炊飯器、冷蔵庫等の購入にあてさせていただきます。スタッフ一同大変感謝しております。



西有明町自治会と共同開催の作品展・バザーが感染予防対策を実施して、例年通り文化の日十一月三日に開催されました。今回は自治会の作品展と、マナの家のお持ち帰りの食品販売（おはぎ、ドーナツ、五目御飯など）、寄付品手芸販売のみですが、できる範囲で開催することとしました。いつもは町内の方、ご利用者、ご家族、地域の子供たちとにぎわいますが、今年は密にならないようマナの家関係者、町内の方で時間を別にして行われました。来年はまた皆さんと一緒に盛大に開催できることを願っています。



西有明町自治会と共同開催の作品展・バザーが感染予防対策を実施して、例年通り文化の日十一月三日に開催されました。今回は自治会の作品展と、マナの家のお持ち帰りの食品販売（おはぎ、ドーナツ、五目御飯など）、寄付品手芸販売のみですが、できる範囲で開催することとしました。いつもは町内の方、ご利用者、ご家族、地域の子供たちとにぎわいますが、今年は密にならないようマナの家関係者、町内の方で時間を別にして行われました。来年はまた皆さんと一緒に盛大に開催できることを願っています。

## コロナ禍での有明地区作品展・からし種の会小規模福祉バザー報告



外での販売



大好評の手作りおはぎ&ドーナツ



地域の作品展



売り上げはみんなの食堂のために



## 編集後記

「からしだね 第32号」は、いかがでしたでしょうか。本年は、コロナウイルス感染拡大により春に非常事態宣言が出され、高齢者施設と致しましては、感染防止対策等でご迷惑をおかけいたしました。その為、第32号の発行が遅くなってしまいました事をお詫び致します。今後とも皆様からのご指導・ご支援の程、よろしくお願い致します。(事務局・高橋)

### ブルーオーシャンシステム導入について

のぞみ職員 滝澤 絹代

今年度の法人の事業計画にありました介護職員の負担軽減、業務の効率化につなげることを目的に介護ソフト・ブルーオーシャンシステムが導入されました。

ブルーオーシャンシステムは、ご利用者の台帳、ケアプラン関連、日々の介護記録や健康管理の記録が一体となったシステムです。日々入力することで、分野ごとに必要な情報を引き出したり、健康状態の変化を一覧でみることが可能になりました。

各部署にタブレットを配置し、職員はタブレットでの入力を行っています。今までは手書きで介護記録をつけていましたので、タブレット操作を不安に感じる声もありました。

まず、システムの担当の方より使用について管理者研修、その後オンラインでの一般職員研修を受けました。一度では習得できるものではありませんので、入力練習期間を設け、その後法人内での再研修を実施後、タブレット入力への移行を行っています。

新しい試みに不安もありましたが、職員同士教えあいながら、順調に移行しつつあります。今後も意見を聞き、見直ししながら、職員間の情報共有のツールとして有効に活用され、よりよいケアへ繋がるよう取り組んでいきたいと思っております。